



令和 4 年度施政方針・当初予算

未来につなぐ 持続可能なまちづくり

3月定例議会で門司町長が令和4年度の施政方針を発表しました。施政方針には、1年間をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。今回は令和4年度予算の概要を紹介します。
問い合わせ 総務課



令和4年度施政方針

私たちの岡垣を さらに住みやすく

ふるさと

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症による日本経済や国民生活への影響が依然として続いています。

町では、引き続き安全かつ円滑にワクチン接種を実施できる体制を維持するとともに、感染拡大の防止対策や住民の皆さんへの生活支援、事

業者への支援など、状況に応じて適時適切な対策を行います。

まちづくりの基本姿勢

【住みやすいまち「岡垣」】

岡垣町は、海辺があり山登りもできるなど自然環境に恵まれています。また、町内にはJR鹿児島本線や、国道3号、国道495号などの主要幹線が通り、福岡市や北九州市などの大都市圏への交通アクセスが良く、通勤・通学に便利な町です。また、日常の買い物は町内で済ませることができ、暮らしやすさも兼ね備えています。

また、安心して子どもを産み、育てられるように、妊娠から出産、育児まで切れ目のない子育て支援や保育環境の充実、定住人口の受け皿となる快適な住環境、利便性の高い都市基盤の整備を進めています。

【自然と共に生きるまち】

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、働き方の新しいスタイル

ルとして、テレワークが奨励されています。中でも、仕事をしながら心身の健康やプライベートの充実が図れるサテライトオフィスの勤務やリゾート地でのワーケーションが注目されています。

都市部に住む子育てファミリー層の中には、自然の中で遊び・学び・働きながら、自然と共に暮らしたいという思いをもった方が一定数おられると考えられます。岡垣町はその思いに応える力を備えており、その受け皿となることが求められています。

【まちの魅力を発信】

新たに「おかがきPR課」を設置し、町内外に町の魅力を広く発信します。また、今後の関係・交流人口、移住・定住人口を増やすことを目的に、戦略的な情報発信などの方針を定めるブランド戦略を策定することで、「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」の実現に向けた、岡垣町のブランディングを進めます。

【令和4年度のまちづくり】

令和4年度は、町制を施行して60年という節目の年を迎えます。岡垣町を築いてこられた先人の力に深く感謝するとともに、さらに住みやすい町をつくり、未来へと引き継いでいくため、「第6次総合計画」に沿ったまちづくりを着



岡垣町第6次総合計画

まちの未来計画

計画期間

令和3年度～令和12年度

実に進めています。

次のページからは、令和4年度の予算の説明と事業概要について、第6次総合計画の基本目標に沿って、新たな施策や重点的に取り組む施策を説明します。

一般会計予算は113億4500万円

歳入

【前年度からの主な増減】

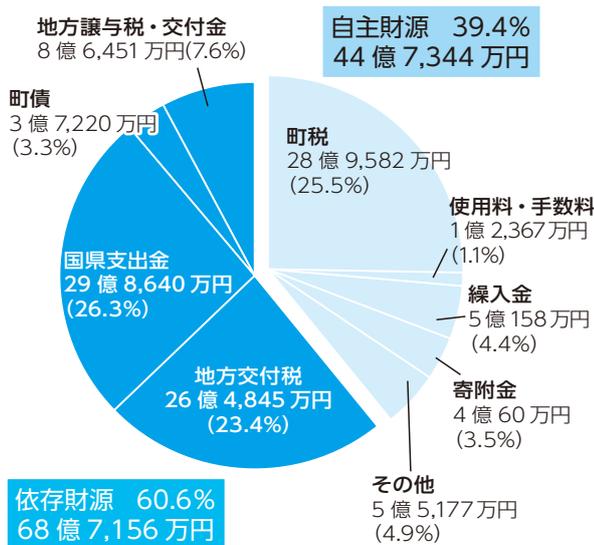
町税 町民税や固定資産税などの増加を見込み、1億5,257万円(5.6%)増加。

地方交付税 国の計画を踏まえ、1億4,349万円(5.7%)増加。

国県支出金 児童や障害者福祉をはじめとする社会保障費などの増加を見込み、6億3,904万円(27.2%)増加。

寄附金 ふるさと納税による寄附の増加を見込み、2億5,000万円(166.0%)増加。

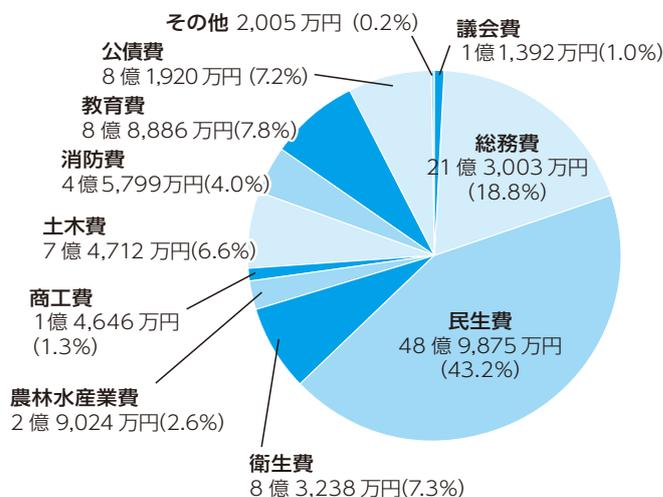
繰入金・町債 基金からの繰入金は3億9,425万円(367.3%)増加し、町債は4億6,910万円(55.8%)減少。



前年度予算から

11億4,400万円(11.2%)の増加

歳出



【前年度からの主な増減】

総務費 おかがき応援寄附金積立金の増額などにより、4億4,215万円(26.2%)増加。

民生費 社会保障費の増加や認定こども園への支援などにより、5億2,284万円(11.9%)増加。

衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種の実施などにより、1億1,753万円(16.4%)増加。

土木費 海老津駅前周辺整備事業やコミュニティバスなどの公共交通網の見直しなどにより、8,839万円(13.4%)増加。

その他の会計

会計名	予算額	会計名	予算額
国民健康保険事業	33億1,610万円	収益的収入	6億3,103万円
		収益的支出	5億4,888万円
		資本的収入	2億1,886万円
		資本的支出	4億2,542万円
後期高齢者医療	6億3,479万円	収益的収入	8億7,406万円
		収益的支出	8億5,831万円
		資本的収入	2億8,325万円
		資本的支出	5億2,269万円

まちの将来像を 実現するために

1

自然を守り、 活かし交流を生むまち



住みやすい生活環境を整えるとともに、町のシンボルである美しい海岸線や森林などの自然を守るため、町と住民が連携した環境保全活動などを推進します。

- 三里松原の
保全活動への支援 — 273 万円
- 森林環境譲与税などを活用した
森林の整備 — 1,185 万円
- 環境啓発
人材育成事業 — 147 万円
など

2

地域資源を活かし発展するまち

農業・漁業・商工業など、地場産業の経営を支援するとともに、観光協会や民間施設と連携しながら、町内外に町の魅力を広く、適時に発信します。

- ため池、水路などの
農業用施設の維持管理 — 5,647 万円
- 有害鳥獣対策 — 275 万円
- 漁業の振興 — 861 万円
- プレミアム商品券発行補助など
商工会への支援 — 7,516 万円
- 観光の振興 — 3,656 万円
など



3 人・つながりが 育つまち

安心して子どもを産み育てられるように、切れ目のない子育て支援や保育環境の充実を図ります。また、子どもたちが社会で生き抜く力とふるさとへの愛着を育む学校教育を推進します。

- 保育サービスの提供 ————— 8億 7,115 万円
- 認定こども園の
施設整備への支援 ————— 2億 323 万円
- 保育士確保への支援 ————— 480 万円
- 学童保育所の運営 ————— 6,099 万円
- こども未来館の運営 ————— 3,012 万円
- 小中学校への ICT 支援員の配置 ——— 1,414 万円
- 英語教育の充実 ————— 1,345 万円
- 岡垣サンリーアイの運営 ————— 2億 4,872 万円
など



すべての住民が生涯にわたって、健康で生きがいを持って暮らせるようにライフステージにあわせた健康づくりを支援します。
また、高齢者や障害のある人などへの福祉サービスの充実を図ります。

4

誰もが元気で
自分らしく暮らせるまち

- 新型コロナワクチン接種の実施 ————— 1億 4,803 万円
- 健康づくりの推進 ————— 3,442 万円
- 福祉総合計画の策定 ————— 413 万円
- 高齢者福祉の増進 ————— 8,060 万円
- 障害福祉サービスの提供 ————— 10億 4,611 万円
- 介護保険事業 ————— 7億 420 万円
など

5

安全・快適に暮らせる 持続可能なまち

人口減少社会における持続可能なまちづくりを進めるための都市基盤を形成します。また、住民の安全安心な暮らしを守るために防災体制の強化や防犯対策の推進により、住民の皆さんが安心して安全に生活できる環境を整えます。



- 立地適正化計画の策定など ————— 1,791 万円
- JR 海老津駅前周辺の環境整備 ————— 1 億 5,610 万円
- コミュニティバスの運行など ————— 1 億 1,211 万円
- 国道 3 号岡垣バイパス 4 車線化の早期完成に向けた取り組み — 102 万円
- 災害対策の専門知識を有する職員の配置 ————— 513 万円
- 防犯灯の設置や LED 化など ————— 1,560 万円
- 防犯カメラの設置や青パトなどの防犯対策 ————— 195 万円
- 吉木・海老津線の歩道拡幅などの交通安全対策 ————— 5,556 万円 など

お知らせ NEWS

気になる内容を Check

令和 4 年度 当初予算



令和 4 年第 1 回岡垣町議会定例会が 3 月に開催され、令和 4 年度当初予算が可決されました。

当初予算の詳細な内容は町公式ホームページから確認できます。

人口減少や社会情勢の変化に的確に対応し、持続できる社会を形成するとともに、しあわせや住みよさを実感できるまちを目指すため、令和 3 年 3 月にまちの未来計画を策定しました。

まちの 未来計画



計画推進 の基盤

- コミュニティ活動への支援 — 1,019 万円
- ボランティアセンターの運営費 ————— 858 万円
- 公民館講座の実施 ————— 629 万円
- 自治公民館活動への支援 ——— 623 万円
- 戦略的なまちの魅力発信に向けたブランド戦略の策定 ————— 180 万円
- おかがき応援寄附金の増加に向けた取り組みの推進 ————— 2 億 1,660 万円 など

